

この夏、淡い初恋の思い出に、日本中が涙する。

大切な人を連れて来られるような良質なエンターテインメントにしたい

取材 文 横川良明 撮影 鏡田伸幸



大野美智子[宅間孝行 スタイルリング] 向井朋子(SMOOCH)[中山麻聖 スタイルリング]
下田亜希子[宅間孝行&中山麻聖 ヘアメイク]



PROFILE

●宅間孝行(たくま たかゆき)左/1970年7月17日生まれ。東京都出身。97年、劇団「東京セレソン」を旗揚げ。01年「東京セレソンデラックス」と改名するのを機に、主宰・作・演出・主演として活動。12年12月に劇団を解散。13年「タクフェス」を立ち上げる。現在4月クールCX連続ドラマ『SMOKING GUN ～決定的証言～』、YTV連続ドラマ『トクボウ 警察庁特殊防犯課』、NHK BSプレミアム連続時代劇『妻は、くノ一～最終章～』に出演中。

●中山麻聖(なかやま ませい)右/1988年12月25日生まれ。東京都出身。04年、映画『機関車先生』でデビュー。以降、『ごくせん』『嵐姫』『江～姫たちの戦国～』など様々な作品に出演。現在放送中のドラマ『牙狼-GARO-』-魔戒ノ花-』に主演・牙島重牙役にて出演中。舞台への出演は、『DISCORD』以来、実に1年8ヶ月ぶり。

あの宅間孝行が主宰するエンターテインメントプロジェクト「タクフェス」。待望の第2弾は東京セレソンデラックス時代の代表作『夕』だ。東京セレソンデラックスの解散から2年、宅間はこの「タクフェス」で何を仕掛けようとしているのか。その胸の内を聞いた。宅間「日本の演劇って文化的な側面が強いところがあると思うんです。たとえば男の子が女の子をデートに誘う時、映画はありだけど舞台は大丈夫なのかってところがあるじゃないですか。でも、劇場って演劇好きの人たちだけが集まる研究会じゃない。もっとエンターテインメントとしてお客様が楽しめるものがあるっていいんじゃないか。ずっとそんな想いがありました。テレビやネットで手軽にいるんなものが得られる時代

にお客様にライブって楽しいなと思ってもらうのが、この『タクフェス』の目的のひとつ。いちばん大切な人を一緒に連れて来て、観終わったら後に美味しい酒でも飲みながら楽しく感想を語り合えるような、そんな良質なエンターテインメントをつくりたいと思っています」

今回、その「タクフェス」に俳優の中山麻聖が初参加する。オーディションを見事勝ち抜き、キーパーソンの一ひとり 徳永役を射止めた。中山「宅間さんのオーディションは他のオーディションとは全然違いました。期間も長し、内容もすごく濃い。最終選考のワークシットでは3日かけて30分のお芝居をつくるんです。すべてが終わった後は脱力感と言うか、これから僕は何をすれば

ばいいのだろうと一瞬空っぽになるくらい濃厚な時間でした」

宅間「今回は本当にみんながハマリ役。特に麻聖の徳永は、一番説得力が出るんじゃないかと思う。これまでに3回上演してきましたが、彼が徳永を演じることで、今回の『夕』が決定版になる。そう期待しています」

本作は甘酸っぱい青春の初恋物語。2人の甘酸っぱい想い出は？

中山「中学の時に3年間、1人の女の子を想い続けていましたね。告白だけで十数回しました。全部断られちゃったんですけど(笑)」

宅間「生懸命思い出しましたが甘酸っぱい想い出が何もない(笑)。むしろ自分が何もない分、そういう甘酸っぱい体験に憧れがあるのかもしれませんね(笑)」

タクフェス 検索

タクフェス 第2弾公演 夕 — ゆう —



舞台・映画・ドラマ業界で活躍する宅間孝行が、様々なコンテンツを融合し、劇空間をより楽しくする、新たなステージエンターテインメント作品を仕掛ける。忘れられない感動と興奮と幸せを生きたLIVEでお届けします。

作・演出 宅間孝行
出演：内山理名 上原多香子 高橋光臣 藤吉久美子 山崎静代(南海キャンディーズ)
阿部力 中山麻聖 他

日：2014年7月3日(木)～21日(月・祝) ※他、地方公演あり 場：サンシャイン劇場
料 7,800円 タクフェスシート4,000円(全席指定・税込)
HP：<http://takufes.jp/yuu/> 問 HMT(ハマタ) tel.03-3453-4018

28名限定！ 7,800円 ▶ カンフェティ特別価格 さらに500pゲット！

対象公演 7月9日(水) 16日(水) 19:00 各14名 計28名
6月2日(月) 11:00より発売開始